

平成22年初夏号
 発行:東青地域県民局
 地域農林水産部
 農業普及振興室
 TEL:017-734-9990
 FAX:017-734-8305



◆戸別所得補償モデル対策の加入締切迫る

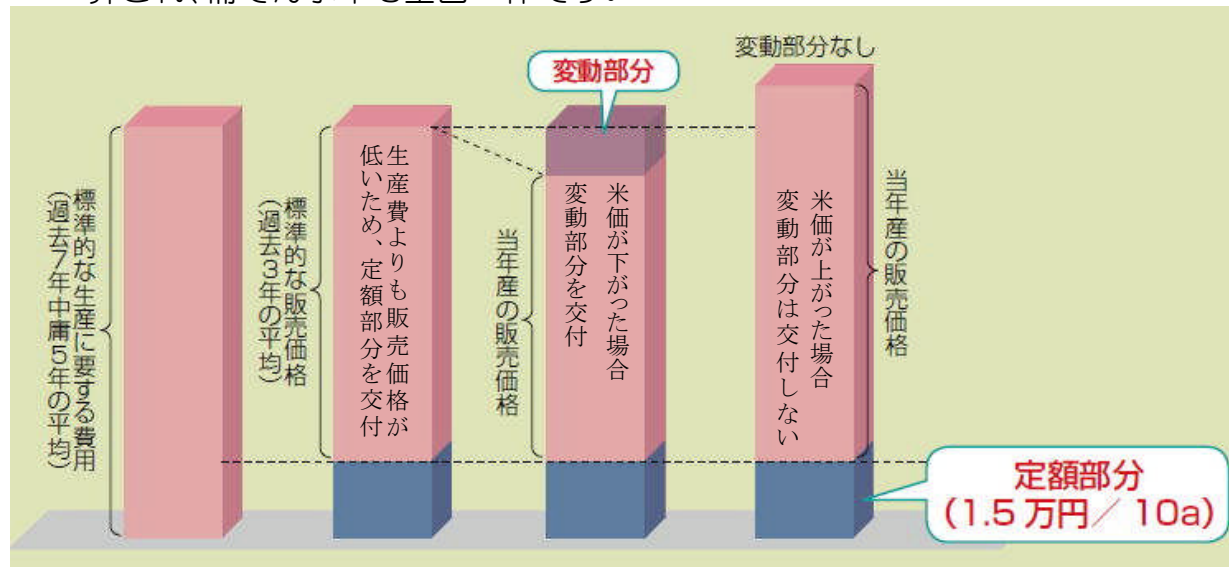
今年度から新たに始まった戸別所得補償モデル対策は、6月30日(水)が加入申込締切となっています。まだ加入していない方は最寄りの市町村・農協または青森農政事務所で行って下さい。

1 米のモデル事業

生産調整を達成しており、水稻共済に加入又は米を販売している方を対象として、

- ① 主食用水稻作付面積10a当たり、1万5千円を交付します(定額部分)。
- ② 主食用米の当年産の販売価格が過去3年の標準的な販売価格を下回った場合、差額を補てんします(変動部分)。

※ 対象面積は作付面積から10a差し引かれます。また、販売価格は全国平均で計算され、補てん水準も全国一律です。



2 水田利活用自給力向上事業

販売目的で転作物を栽培した面積に応じて一定額を交付します(生産調整達成・未達成は問いません)。

なお、販売目的であることの証明に、作業日誌や販売伝票等の整備・保管が必要です。

【水田利活用自給力向上事業における助成単価】

◆県統一単価

(単位:円/10a)

作物名	助成単価
麦・大豆・飼料作物(この他に、麦・大豆は水田経営所得安定対策の助成あり)	35,000
飼料用米、米粉用米、WCS用稲	80,000
そば、なたね、加工用米	20,000
トマト、ピーマン、とうもろこし、キク、ほうれんそう、アスパラガス、にんにく、ばれいしょ、なす、かぼちゃ、きゅうり、いちご等(全63品目)	15,000
小松菜、ギョウジャニンニク、ストック等(全20品目)	10,000
地力増進作物、景観作物、その他作物	5,000

◆各市町村段階での加算後の単価(予定)

(単位:円/10a)

市町村名	作物名	県統一単価	市町村加算単価	合計単価
青森市	麦	35,000	35,000	70,000
	飼料作物	35,000	5,000	40,000
	そば	20,000	18,000	38,000
	バサラコーン	15,000	23,000	38,000
平内町	大豆	35,000	55,000	90,000
	キク、トマト、ピーマン、ほうれんそう等	15,000	3,000	18,000
外ヶ浜町	にんにく	15,000	31,904	46,904
今別町	ばれいしょ	15,000	13,000	28,000
	キク、トマト、なす	15,000	9,000	24,000
	アスパラガス、かぼちゃ、きゅうり等	15,000	1,000	16,000
蓬田村	そば	20,000	4,000	24,000
	トマト、にんにく、いちご	15,000	20,000	35,000
	地力増進作物	5,000	5,000	10,000

※ 市町村段階の加算を受けることができるのは、21年度に産地確立交付金または新需給調整システム定着交付金の交付を受けた方に限られます。

※ この他にも加算対象作物がある場合があります。また、別に要件がある場合があります。

※ 詳しくは 市町村にお問い合わせください。

3 加入に必要な書類

- ① 戸別所得補償制度モデル対策加入申請書
- ② 作付面積確認依頼書
- ③ 不作付地の改善計画(不作付地がある場合)

※ この他に、印鑑と振込口座の通帳をお持ちのうえ手続きを行ってください。

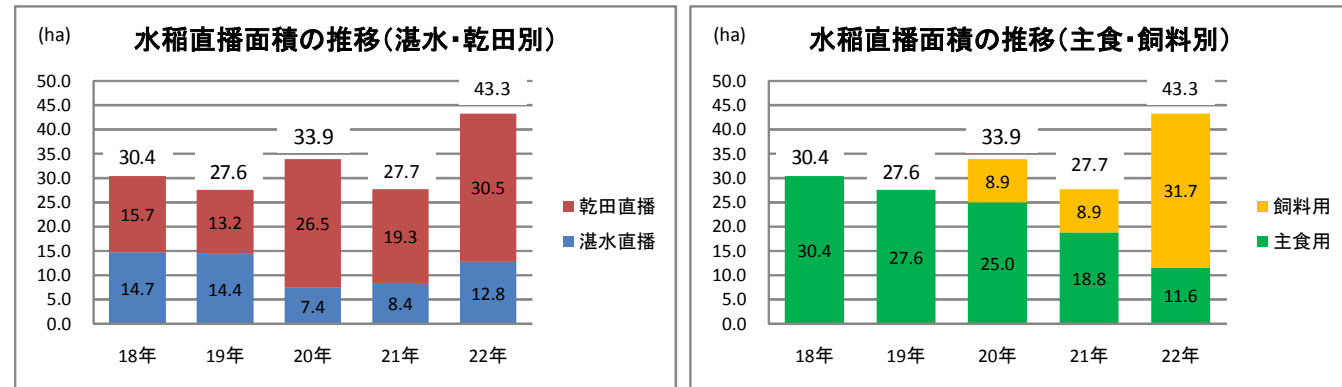
なお、①から③は市町村から送付されています。

◆ 飼料米への取り組みを背景に水稲直播栽培面積が拡大

平成22年の東青管内の水稲直播栽培面積は43.3haと対前年比で約1.6倍に拡大しています。

乾田直播が30.5haに拡大するとともに、国の水田利活用自給力向上事業の助成金(8万円/10a)を活用した飼料米の取り組みが拡大しています。

当農業普及振興室では、乾田直播栽培の実証ほ等を設置し、低コスト技術の普及拡大を支援しています



◆ 「春季代かき後の水稲乾田V溝直播栽培」の実証ほを設置

本年度、普及拡大を図る技術に採用された「春季代かき後の水稲乾田V溝直播栽培」の実証ほを青森市浪岡吉野田地区の大区画ほ場に設置しました。

この技術は、春先の雪解け水を利用して代かきを行い、速やかに落水し、田面を乾燥固結させてから不耕起V溝直播機で播種するもので、レーザーレベラーでの均平作業や砕土・鎮圧作業が不要で、後発雑草の密度を低く抑えることができるなどのメリットがあります。

現在のところ出芽・苗立ちも順調に推移しています。



3月19日 積雪状況



3月26日 雪どけ水を利用して代かき



4月17日 田面が乾燥固結



5月2日 不耕起V溝播種機で播種



5月16日 出芽前に除草剤を散布



6月13日 苗立状況

◆ 「大豆300A技術」の実演会を開催

6月5日に外ヶ浜町中小国の大豆栽培ほ場において、青森クボタ・JA青森蟹田支店・外ヶ浜町農業・農村活性化協議会の協力を得て、大豆300A技術の「耕うん同時畦立て播種栽培」と「小畦立て播種栽培」の実演会を開催しました。

「大豆300A技術」とは、湿害や雑草を土壌条件に応じて適切な耕起・播種技術、栽植密度で回避し、高収量(300kg/10a)と高品質(Aクラス)な大豆生産を目指す技術です。



大豆300 A 技術実演会



耕うん同時畦立て播種栽培



小畦立て播種栽培

◆ 三村知事が集落営農組織と意見交換

5月28日に「おぐにふるさと体験館」において、三村知事と上小国ファームや外ヶ浜町農業・農村活性化協議会の方々が米粉パン等を試食しながら意見交換を行いました。

上小国ファームの藤田組合長や活性化協議会の泉会長からは、活動は途についたばかりであり、引き続き関係機関の支援・指導を得ながら頑張っていきたいと決意表明がありました。

知事からは、「地域住民の方々が生き生きと暮らしていく地域づくり」を県の攻めの農林水産業の一環として位置づけ、販売面も含め支援していきたいと激励の言葉がありました。



知事との意見交換会



地域リーダーから取り組みを説明



知事から激励の言葉

◆ 「全国農業コンクール」が青森市で開催されます。申し込み受付中!

21世紀の先進的な農業経営や農家生活の改善を進める個人、グループ、団体の事例報告から今後の農業のあり方を探る「全国農業コンクール」が青森市で開催されます。

本県では22年ぶりの開催となり、本県からも3名の方が事例発表を予定しています。全国の先進事例を学ぶまたとない機会ですので、皆さんお誘い合わせのうえご参加ください。

- 開催期日 平成22年7月8日(木) 10:00~17:30
- 開催場所 青森市文化会館 大ホール
- 参加申し込み 東青地域県民局地域農林水産部農業普及振興室 ※ 参加費無料
(担当:経営・担い手班 山内、神) 電話:017-734-9990